

を中二と見れば三代小治り我をを後業一其末の業
院因つろと不玉正ゲス國イタリヤ國イスパニヤ國ドイツ
國と外國に勝年を奪つたこと一我をを斗ひを争ひ
あつた静の法邦に我をを顯一歐羅巴に法列力平
よ乃一能まよ

貴國に使を中邦より出懸陽より一其屬國に地力不
遠よ是追信を通一及言を言へ向度一及言格別
信義を信ひ了及新るよめ人自昔年

貴國 沖仁徳に及よ女王かよるか使來るよ東邦に其年
七年

貴國に紅邪風に道の我をを常流信よ其人之
御國よ令邦朝よめ及格年業自國より船を仕出

邊境に其節に及よ一者九格別よ其字に及扱るよ其正
我國よ其再の

貴國に余はあつたよ一其信に洋小をるよ一信牌をよ下一
流り感謝を量よ其各よ其右獲海のたれ今級使節をよ
江府 洋獲るよ其年

貴國に高義欣服一猶交易一道を開けり及よ其
大日本國王 膝下よ禮洋をお願を其身柄を撰
我を服よ其あつたよ其小こら向き其の川をよ其者
令後悔よ其年

貴國に沖仍伝不知事よ其何事沖國法をよ其年
一其年其年一其我國よ其年

一其年其年一其我國よ其年

王座パールベルク小銃と即座してより
二年一月二十日

カミヤンヤの判
西元
カミヤンヤ

右者ヨロシヤ國より指古知しと志南節は朝は使節と
はまののりよるまのひれ存はるまよ

カミヤ

西元
カミヤ

一由今國よりなんんかふ一由今國よりけりてや創業
モスコビヤより谷よりチロシヤ國一よふ一と今國より所
開いたる國

モスコビヤ
ウラディミル
カサシ
シベリヤ
ケルンチース
スモレニスカ
ポドリ
リーフラシト
セモカリエシ
コレリエシ
ユゴリエシ
ウーアトカ

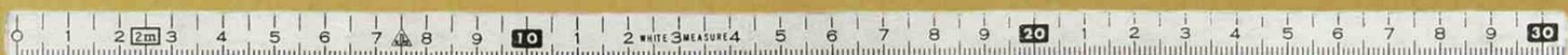
キープ
ノフゴロツト
アスタツカシ
クウリセシ
プレスカウ
ウチリイニイ
エーストラシト
クイルラシト
サモギナイエシ
テウール
ペルミエシ
ホルガリエシ

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage, starting with a large initial letter.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage from the previous page.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.



Handwritten text in a cursive script, likely a list or account, consisting of several lines of characters.

Handwritten text, possibly a signature or a specific entry, located in the middle of the page.

Handwritten text, possibly a signature or a specific entry, located in the middle of the page.

Handwritten text, possibly a signature or a specific entry, located in the middle of the page.

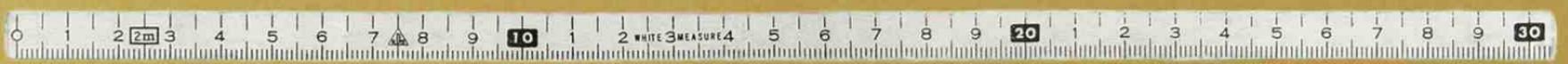
Handwritten text, possibly a signature or a specific entry, located in the middle of the page.

Handwritten text, possibly a signature or a specific entry, located in the middle of the page.

Handwritten text, possibly a signature or a specific entry, located in the middle of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or account, consisting of several lines of characters.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or account, consisting of several lines of characters.



二〇二〇年

九月廿二日

一、高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の
一、高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の
一、高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の
一、高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の
一、高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の

高橋宗清

一、高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の
一、高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の
一、高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の
一、高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の
一、高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の

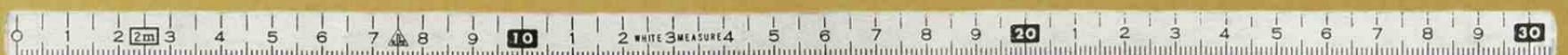
高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の

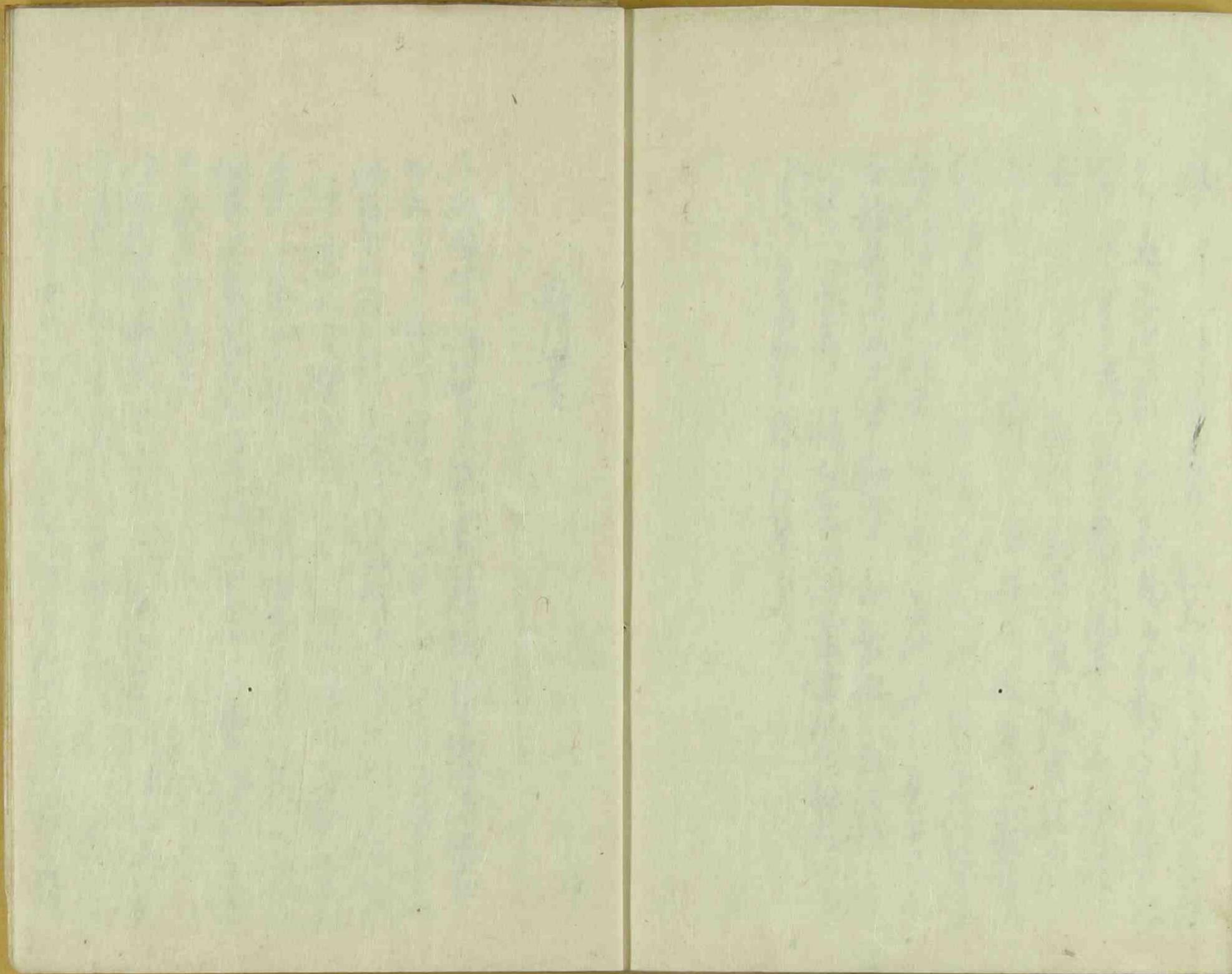
高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の
高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の
高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の
高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の
高橋宗清の「高橋宗清の書翰」の中に「高橋宗清の書翰」の

一 沖波の如く船の如く物は流るるに依りて其の行方不定なり
其の如く舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり

一 例の如く舟の如く物は流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり

舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり
舟の如く流るるに依りて其の行方不定なり





長崎大学附属図書館経済学部分館武藤文庫所蔵



世に流るるもの多し... 此書も其の類なり... 江州の地味なり

右の如く... 此の如く... 此の如く...

右の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く...

右の如く... 此の如く... 此の如く...

此の如く... 此の如く... 此の如く...

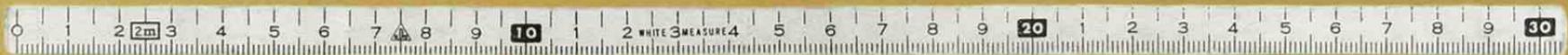
此の如く... 此の如く... 此の如く...

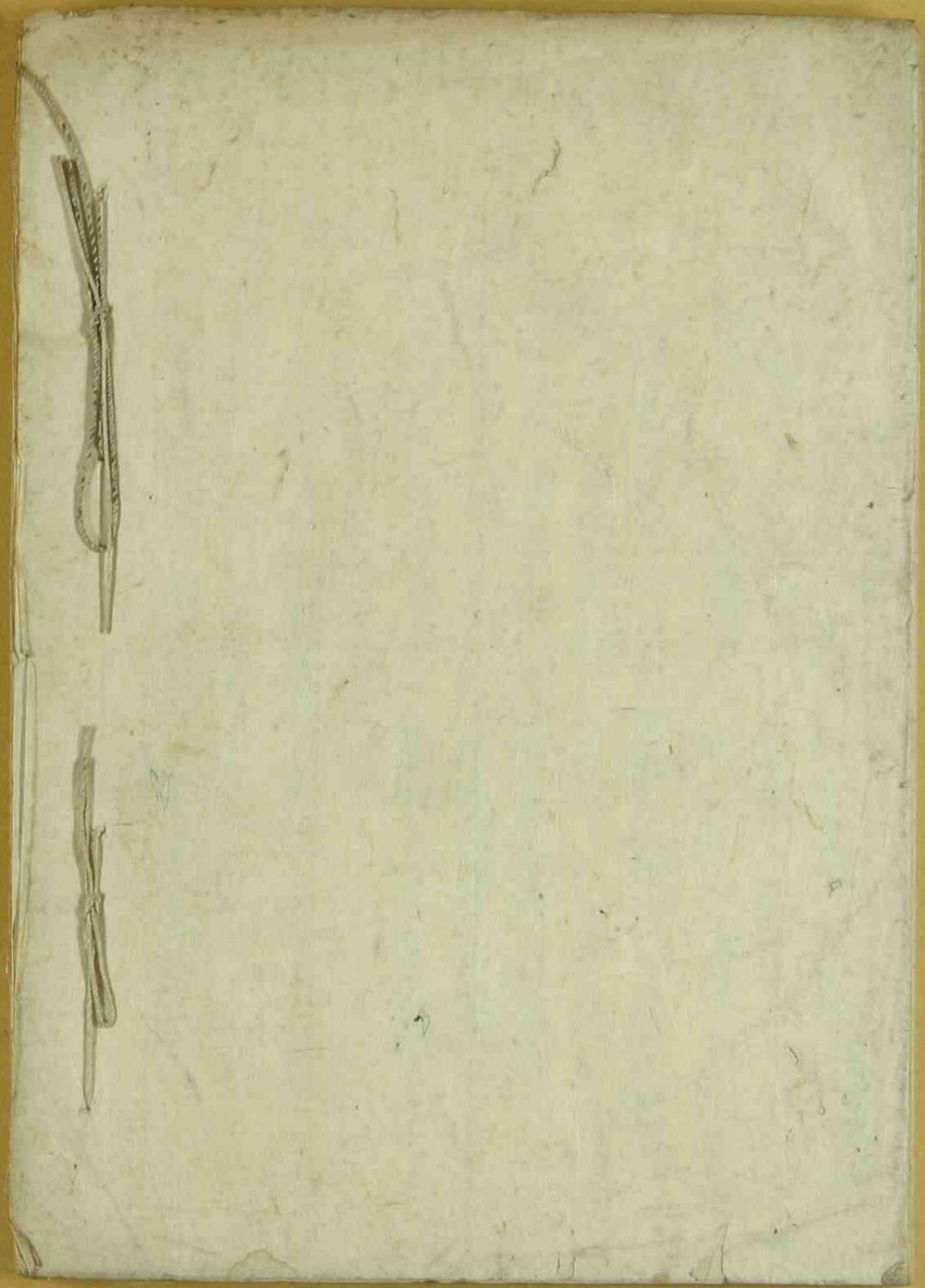
此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く...

九月廿九日

心斎翁

Blank page on the left and a page with extremely faint, illegible handwriting on the right.





長崎大学附属図書館経済学部分館武藤文庫所蔵

